



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日
東

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所
 コード番号 2708 URL <https://www.kuze.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久世 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 井出 譲二 (TEL) 03(3987)0018
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	17,917	0.8	310	△36.6	372	△30.8	244	△33.3
2026年3月期第1四半期	17,774	4.4	490	15.5	539	20.1	366	△41.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 184百万円(△49.2%) 2026年3月期第1四半期 363百万円(△46.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	52.92	—
2026年3月期第1四半期	79.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	23,951	9,641	40.3
2026年3月期	24,722	9,665	39.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 9,641百万円 2026年3月期 9,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	37,000	2.4	830	△15.9	870	△18.4	560	△21.2
通期	75,000	2.0	2,000	△9.1	2,100	△10.7	1,400	△20.4
								302.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	4,626,327株	2026年3月期	4,626,327株
2027年3月期1Q	51株	2026年3月期	51株
2027年3月期1Q	4,626,276株	2026年3月期1Q	4,626,276株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の拡大を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格の上昇により、エネルギー価格や原材料価格の高騰が続き、企業の調達コストが増加し、個人消費への影響が懸念されました。政府によるエネルギー価格抑制策などが景気を下支えたものの、コスト上昇圧力は依然として高く、企業を取り巻く経営環境は厳しい状況で推移し、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場においては、大型連休に伴う人流の増加やインバウンド需要の拡大を背景に、需要は底堅く推移しました。一方で、消費者の節約志向が続く中、仕入価格の高騰や人件費の高止まりが収益を圧迫する厳しい事業環境が続きました。中食市場においても、簡便性・即食性へのニーズを背景に堅調な需要が続いたものの、各種コストの上昇への対応が引き続き重要な経営課題となりました。

このような状況の下、当社グループは、外食・中食市場の持続的な発展のために、中東情勢で一部商品の供給が逼迫する中であって商品の安定供給に努めました。また、カスタマーセンターの事務所を開設し、お客様へのサービス品質向上に取り組みました。6月15日に、「事業モデルの変革」をテーマとした中期経営計画第2フェーズ(2027年3月期～2029年3月期)を発表いたしました。

引き続き、物流品質向上や生産性向上のために物流拠点の再整備を推進し、さらには重要なパートナーである物流委託会社からの物流費の適正化に対する要請に応じております。また、特に生鮮品において仕入原価の高騰が継続しておりますが、一連のコスト上昇分を経営努力により吸収するには至っておりません。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は179億17百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は3億10百万円(前年同期比36.6%減)、経常利益は3億72百万円(前年同期比30.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億44百万円(前年同期比33.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおいては、フードサービス、観光レジャー、中食惣菜の三つの市場開拓に取り組んでおりますが、物流拠点の再整備や作業人員の確保のため、物流費等の費用が増加いたしました。また、生鮮中心のグループ会社は相場の変動を吸収しきれず、売上原価が増加いたしました。その結果、売上高は161億97百万円(前年同期比0.4%増)、セグメント利益(営業利益)は4億60百万円(前年同期比26.0%減)となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおいては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。円安により輸入原材料のコストは増加していますが、生産性の向上に努めると共に、既存のお客様との取り組みを強化いたしました。その結果、売上高は16億87百万円(前年同期比5.1%増)、セグメント利益(営業利益)は1億86百万円(前年同期比16.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億70百万円減少し、239億51百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が6億69百万円、投資有価証券が1億2百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ7億47百万円減少し、143億10百万円となりました。これは主として買掛金が5億26百万円、未払法人税等が1億54百万円、長期借入金が1億12百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し、96億41百万円となりました。これは主として利益剰余金が36百万円増加し、その他有価証券評価差額金が66百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の39.1%から40.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想は、第2四半期、通期ともに2026年5月15日に公表いたしました予想を据え置いております。当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえて第2四半期以降の業績予想を精査し、今後、見通しが明らかになった時点で適時開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,334	4,327
受取手形及び売掛金	8,081	7,412
商品及び製品	3,523	3,541
原材料及び貯蔵品	609	687
その他	667	613
貸倒引当金	△85	△76
流動資産合計	17,131	16,506
固定資産		
有形固定資産	3,073	3,037
無形固定資産	294	299
投資その他の資産		
投資有価証券	1,976	1,874
その他	2,537	2,523
貸倒引当金	△290	△288
投資その他の資産合計	4,223	4,108
固定資産合計	7,591	7,445
資産合計	24,722	23,951
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,082	9,556
1年内返済予定の長期借入金	650	600
未払金	1,234	1,170
未払法人税等	334	179
賞与引当金	356	537
その他	462	528
流動負債合計	13,121	12,572
固定負債		
長期借入金	1,050	937
繰延税金負債	267	203
役員退職慰労引当金	244	209
退職給付に係る負債	229	233
資産除去債務	102	102
その他	41	50
固定負債合計	1,935	1,737
負債合計	15,057	14,310

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	999	999
利益剰余金	7,742	7,779
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,842	8,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	881	815
為替換算調整勘定	△70	△62
退職給付に係る調整累計額	11	10
その他の包括利益累計額合計	823	763
純資産合計	9,665	9,641
負債純資産合計	24,722	23,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	17,774	17,917
売上原価	13,640	13,629
売上総利益	4,134	4,287
販売費及び一般管理費	3,643	3,977
営業利益	490	310
営業外収益		
受取事務手数料	21	20
受取配当金	16	16
為替差益	3	—
持分法による投資利益	3	4
その他	11	32
営業外収益合計	56	74
営業外費用		
支払利息	6	7
支払手数料	1	1
その他	0	2
営業外費用合計	7	12
経常利益	539	372
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	544	372
法人税、住民税及び事業税	205	170
法人税等調整額	△28	△42
法人税等合計	177	127
四半期純利益	366	244
親会社株主に帰属する四半期純利益	366	244

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	366	244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△66
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△0	7
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	△3	△60
四半期包括利益	363	184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363	184
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	88百万円	92百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,133	1,605	17,739	35	17,774
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	2	33	36
計	16,136	1,605	17,742	68	17,810
セグメント利益	621	160	782	15	797

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流受託事業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	782
「その他」の区分の利益	15
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△308
四半期連結損益計算書の営業利益	490

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,193	1,687	17,880	36	17,917
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	14	18
計	16,197	1,687	17,884	51	17,936
セグメント利益又は損失 (△)	460	186	647	△3	643

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流受託事業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	647
「その他」の区分の損失(△)	△3
セグメント間取引消去	12
全社費用(注)	△346
四半期連結損益計算書の営業利益	310

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。